

レジメン名称：多発性骨髄腫 DLd療法 1サイクル目

適応がん種：多発性骨髄腫
 インターバル日数：28日
 予定コース数：PDまで

Rp.No.	癌	薬剤名	投与量	手技	投与経路	点滴時間・速度	day(1)	day(2)	day(8)	day(9)	day(15)	day(16)	day(22)	day(23)
1		ポラミン2mg	1錠	経口	内服		10:00		10:00		10:00		10:00	
		カロナール200mg	3錠	経口	内服		10:00		10:00		10:00		10:00	
2		生理食塩液250mL	1本	点滴静注	末梢メイン	ラインキープ用	10:00							
2		生理食塩液100mL	1本	点滴静注	末梢メイン	ラインキープ用			10:00		10:00		10:00	
3		生理食塩液50mL	1本	点滴静注	末梢側管	15分で	10:00		10:00		10:00		10:00	
		デキサート注(デキサメタゾンとして)	19.8mg											
		Rp3投与45分後以降に投与開始												
4		生理食塩液1000mL	1本	点滴静注	末梢側管	初回投与時間(単位ml/h)	11:00							
	*	ダラザレックス点滴静注	16mg/kg			day1: 60分毎に投与量を変更(50→100→150→200)								
		* total 1000mLとなるようにNS抜き取り調製				* 0.2または0.22μmのインラインフィルターを使用する								
4		生理食塩液500mL	1本	点滴静注	末梢側管	初回投与時間(単位ml/h)			11:00		11:00		11:00	
	*	ダラザレックス点滴静注	16mg/kg			day8: 60分毎に投与量を変更(50→100→150→200)								
		* total 500mLとなるようにNS抜き取り調製				day15: 60分毎に投与量を変更(100→150→200)								
		* 0.2または0.22μmのインラインフィルターを使用する												
5	*	レブラミド5mg	5錠	経口	内服		← day1~day21 適宜減量可 →							
6		レナデックス4mg	5錠	経口	内服			○		○		○		○

上記表にて設定する抗がん剤について

Rp.No.	薬剤名	設定値	上限値
4	ダラザレックス点滴静注	16mg/kg	
5	レブラミド	25mg	25mg

<備考>

- ①投与開始1~3時間前にステロイド、解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤を投与すること
- ②初回投与開始時から3時間以内にinfusion reactionが無い場合2回目よりtotal500mLとできる
- ③初回、2回目投与時に最終速度が100mL/hr以上でinfusion reaction無い場合、3回目より100mL/hrから開始できる
- ④ダラザレックスの希釈液は投与時間も含め15時間以内に投与
- ⑤希釈後直ちに投与しない場合は、遮光下にて2℃~8℃で24時間保管することができる